

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

平成29年3月22日

市長記者会見資料



市制100周年に向けた「川崎市映像アーカイブ」事業

川崎の昔の映像を公開 & 募集します！

1924年に川崎市が誕生し、2024年には市制100周年を迎えます。この間、市の発展とともにまちの風景は大きく変わってきましたが、本市では、1952年から2007年まで、市内でのさまざまなニュースを「川崎市政ニュース映画」として制作し、映画館などで上映していました。その数は約720本に上り、市の歴史を伝える貴重なアーカイブとなっています。

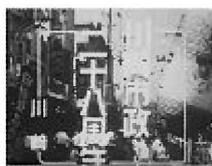
一方、昔のまちの様子が映し出された古いフィルムは、デジタル機器の進化や「ビネガーシンドローム」（経年劣化）のため再生困難になりつつあり、官民間問わず、その保存が課題となっております。そこで、

- ① 市が保有する「川崎市政ニュース映画」などをホームページで広く公開
- ② 市内の様子が映し出された昔の映像の提供を呼びかけ、デジタル化した上で、まちの記憶を、市民の共有の財産として公開・活用

以上、2つを中心とした「川崎市映像アーカイブ事業」に取り組みます。この取組により、幅広い世代の方が、川崎の歴史、川崎のまちの過去の姿や人々の生活などを知るとともに、私たちのまち・川崎の将来のあり方について、一緒に考える機会としていくことを目指します。

1 公開用ホームページ 「川崎市映像アーカイブ」 ※公開開始 3月22日(水)

HP アドレス <http://www.kawasaki-movie-archive.org/>



タイトル画面



全区共通



川崎区



幸区



中原区



高津区



宮前区



多摩区



麻生区

①川崎市政ニュース映画 約720本
1952年～2007年までの映画館で上映されていた映像

②インタビュー映像

川崎の昔を知る人物のインタビューを記録として撮影し、順次掲載

③かわさき市民ニュース

2011年以降、かわさきキネマサークルが制作している記録映像

④その他の映像

本庁舎さよならイベント（2016年）で上映した「本庁舎78年のあゆみ」など

※「川崎市政ニュース映画」は、これまで川崎市市民ミュージアムの映像ライブラリーでは閲覧できませんでしたが、今回はじめてインターネットで全ての視聴が可能になりました。

2 市民の方から映像を募集

下記のような、市内の様子が映ったフィルム・ビデオテープ（1980年代ごろまで）に映像の提供を市民・企業の方々に呼びかけます。

- 川崎市のまち並みや風景が映っているもの
- 川崎市の文化・産業や人々の暮らしの様子が記録されているもの

受付期間：3月23日（木）から随時受付

受付方法：市民文化振興室 映像のまち推進担当まで電話等で連絡

（映像の内容について、聞き取り調査を実施する必要があるため）

3 映像の利用・活用

ホームページに掲載されているアーカイブ映像は、市民の共有の財産として、個人の閲覧以外に、団体における様々な活動でも利用することができます。（但し、営利・政治目的の利用はできません）

また、集まった映像は、関係部署・市民・企業と連携し、次のような活用を検討・実施します。

- 高齢者施設、地域、学校などでの利用
- 市民が集まるイベントなどでの上映

例：「川崎みなとまつり」で川崎港の今昔を映像で振り返る企画 など

併せて、映像の利用促進に向け、映像の貸出等についても今後検討を進めます。

【参考】これまでの取組

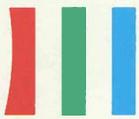
- 2014年（市制90周年）に、市制100周年を展望した映像アーカイブ事業のモデル事業として「私の夢、10年後の川崎のまち」映像タイムカプセル募集を実施、10歳の子どもたちから映像を募集済み、2024年（市制100周年）の成人式で、保存した映像を上映予定
- 2014～2016年に解体前の川崎市役所・本庁舎で、職員の働く事務室の様子と職員の移転後の庁舎内を撮影。2016年10月の本庁舎さよならイベントでは、「本庁舎78年のあゆみ」という記録映像を制作し上映
- 「川崎市政ニュース映画」の試行的活用も進め、高齢者施設やKAWASAKI しんゆり映画祭などでも上映

川崎市 市民文化局 市民文化振興室

映像のまち推進担当 浅沼・永塚

電話 044-200-2416（内27751）

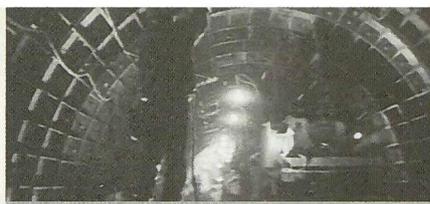
Fax 044-200-3248（内27799）



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



かわさき
あのころ
あのとき。



市制100周年に向けて

川崎市映像アーカイブ

まちの記憶を共有の財産に



1924年に川崎市が誕生し、2024年には市制100周年を迎えます。

その間、まちの風景は大きく変わってきました。

川崎市では、市が保有する過去の映像を広く公開すると同時に、

市内の様子が映し出された昔の映像も集めていきます。

これらの映像を通じて、川崎のまちの過去の姿や人々の生活、

そして今も残る姿を知るとともに、

私たちのまち・川崎の未来を考えていきたいと思います。



ホームページ
にて公開中!

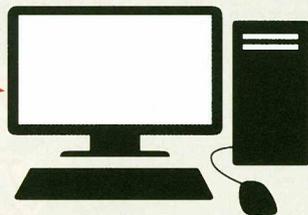


川崎市映像アーカイブ **検索**

<http://www.kawasaki-movie-archive.org/>

詳細は裏面へ

ホームページの
主な掲載内容
スマホでも見られます



川崎市政ニュース映画

かつて映画館で上映された、
1952(昭和27)年から
2007(平成19)年まで市内
の様子を記録した1~2分程
度の映像(約720本)です。



インタビュー映像

昔の川崎を知ってる方々に、戦前から戦後の「あのとき」について語っていただきました。

かわさき市民ニュース

2011(平成23)年以降の市内の
様子を記録し続けています。
(制作:かわさきキネマサークル)

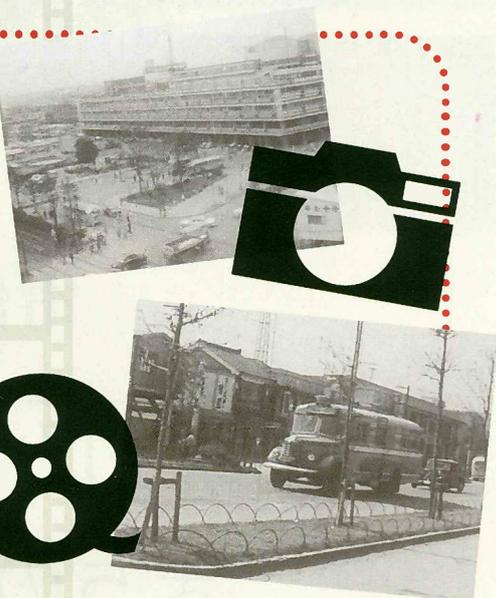


その他の映像

川崎の昔を振り返ることができますよ。

昔の映像を
募集して
います!

川崎市内の様子が映し出された
昔の映像を募集しています。
集めた映像はデジタル化し、
市民の共有の財産として
残していくとともに、
このサイトを通じて広く公開し、
活用していきます。



●次のような映像を探しています。

川崎市のまち並みや風景が映っているもの

川崎市の文化・産業や人々の暮らしの様子が記録されているもの

これらの映像をお持ちで、この事業にご賛同いただける方は、まずは下記担当までご一報ください。
市外の方からの情報もお待ちしています。なお、募集等の詳細は次のとおりです。

募集について

- 市内の様子が映ったフィルム・ビデオテープ(1980年代ごろまで)に撮影された映像を探しています。
- ご一報いただけましたら、撮影場所・内容・撮影期日・撮影者等のヒアリングなど、アーカイブ化に向けた調査を行います。
- 市で使用させていただいたフィルム等はデジタル化した上で、DVD等の希望されるメディアに複製したものと併せて返却します。
- 映像の著作権は提供者に帰属しますが、市の事業等での活用及びWebでの公開ができるものとし、無償かつ自由に使用できるものとします。映像を編集して利用させていただくこともあります。(提供者のお名前等のご意向に沿って記載します)



●ホームページ・映像募集についてのお問い合わせ

川崎市 市民文化局 市民文化振興室

TEL:044-200-2416 メール:25bunka@city.kawasaki.jp